

平成 27 年度事務事業評価表(公共事業用)

①事務事業名		担当	部課コード	120300	TEL	2998-9377
事業コード	北野下富線道路築造事業	担当	計画道路整備課			
120301		部課	グループ	庶務・用地・工務		
開始年度		平成 6 年度	→	終了年度		平成 35 年度

②事業の概要	事業の種類	<input type="checkbox"/> 土地利用 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建設 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度	
	根拠法令	道路法、都市計画法	
	分野別計画・指針	所沢市まちづくり基本方針(幹線道路)	
	関連・類似事業	松葉道北岩岡線道路築造事業(当課)、所沢村山線道路築造事業(当課)	
	総合計画の体系	章 街づくり	節 道路
事業開始の背景・目的(どのような経緯で、どのような効果を目指して実施しているのか)	平成4年度の都市交通整備計画において市街地全体を外郭する環状道路として位置付け、市内道路の交通渋滞緩和を図るものである。国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から県道所沢堀兼狭山線下富駿河台までの延長5,500m、幅員18mの道路の整備を行う。		

③事業の内容	事業の内容・実施方法(最終的にどのような状態を生み出そうとしているのか、そのためにどのような方法・手段を用いるのか)	
	幹線道路の環状型ネットワークを図り、交通渋滞の緩和を図る。	
事業開始後の環境変化(人口や需要量見込み等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)とそれに対する対応		
土地価格の変動。これに合わせて事業期間や事業費など適切に対応している。		

事業費概要(千円)	事業開始時の総事業費予定額	13,350,532	事業の進捗率	平成27年度の事業内容及び平成28年度以降に予定している事業内容の概要	
	事業費累計(平成26年度まで)	8,495,104	64 %	都市計画道路松葉道北岩岡線からラーク所沢前の市道3-5号線までの延長470m(1工区)、国道463号小手指陸橋北交差点から北中公園西側の市道3-575号線までの延長260m(2工区)、市道3-575号線から県道所沢狭山線までの延長862m(3工区)を整備区間として建設を進めており、平成27年度は用地取得と工事(平成26年度繰越分)を行うものである。平成28年度以降も引続き用地取得と工事を施工し、早期の供用開始を図るもので、1工区と2工区は平成28年度末の供用を目指し、3工区は平成31年度末の供用開始を目指している。	
	平成27年度実施計画における事業費	平成27年度	288,586		66 %
		平成28年度	1,466,000		77 %
		平成29年度	572,000		81 %
現時点での総事業費予定額	13,350,532	平成 35 年度終了予定			

④経費	＜会計種別＞ 一般会計		平成 25 年度 (千円)	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)
	当初予算		1,131,798	461,689	288,586
	決算(見込み含む)		408,028	461,260	
	(非常勤特別職員)	(臨時任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(人)
	正規職員人件費		1.75 人	15,554	2.50 人
	事業費合計		423,582	483,063	
	財源内訳	一般財源	170,252	61,692	31,431
	国・県支出金	105,930	145,071	41,855	
	その他(地方債、都市計画税)	147,400	276,300	215,300	

※「財源内訳」について平成27年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑤成果	項目名	項目説明	単位	H 25	H 26	H27目標値	将来目標
	成果指標	市道3-5号線及び県道川越所沢線の交通量	市道3-5号線、及び県道川越所沢線(美原町3-2944-2前)に観測点を設定。	台	目標値		1割削減
	実績			2,957	2,944	<input type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input checked="" type="checkbox"/> 「実績」縮小図る	
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率		↑どちらかをチェックしてください
成果指標設定理由・目標値の考え方	全線開通して成果が現れるが、暫定措置として松葉道北岩岡線と1工区の同時開通により交通渋滞の緩和を図るため上記箇所に設置する。年1回測定、測定日平成26年7月9日、県道川越所沢線(朝)川越方面482台、所沢方面374台、夕)川越方面395台、所沢方面400台、市道3-5号線(朝)狭山方面312台、所沢方面376台、夕)狭山方面286台、所沢方面319台。 ※朝)AM7:30~8:30、夕)PM5:30~6:30						

⑥評価	事業計画見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要あり⇒ <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし⇒	理由及び今後の方向性
	総事業費見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要あり⇒(<input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了) <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	本路線は市街地を外郭する外環状道路であるため、全線開通により交通渋滞の緩和に大きく寄与する事業であることから重点的に整備を進めている。さらに整備効果を発現するため、残りの未整備区間を早期事業化して都市計画道路のネットワークを構築するものである。事業期間や事業費など未整備区間の事業化や財政事情等に応じて見直しを行う。
	上記評価の理由	都市計画道路東京狭山線下安松工区、都市計画道路飯能所沢線の第2工区・第3工区の整備促進により、東京都の都市計画道路との接続が期待されている。この2路線に交差接続する本路線の整備を集中的に実施しているが、未整備区間の事業化や社会経済状況により事業費等に生じることから総事業費の見直しを行うものである。	
評価日	H27.6.11	評価者職氏名	建設部計画道路整備課 課長 岸徳夫

⑦環境影響	有益な環境影響	1-1地球温暖化の防止	4-1大気汚染の防止	有害な環境影響を及ぼす原因活動	緑の減少・都市計画道路の整備	規制を受ける環境法令等	有
						緊急事態	有